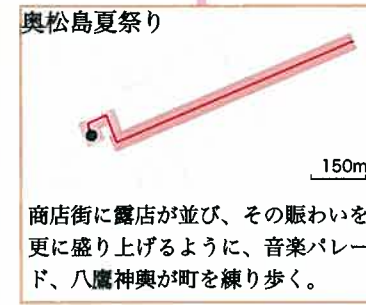
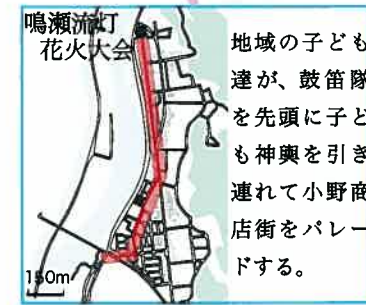
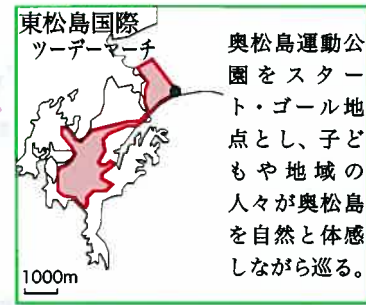


# Higashimatsushima Map of Festival

催事年間スケジュール	
4月	滝山桜祭り
5月	奥松島夏祭り
	東松島旬の市
6月	東松島国際ソーデーマーチ
	里浜朝市
7月	月浜朝市
	奥松島ビーチボール大会
8月	月浜朝市
	里浜朝市
9月	鳴瀬流灯花火大会
	東松島夏祭り
10月	自衛隊航空祭
	縄文村祭り
11月	東松島旬の市
	延びる開眼多幸上げ祭り



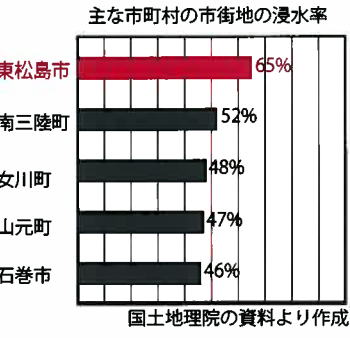
「子ども達が地域を体感し、文化や歴史を学ぶ」3つのお祭り  
地域を人々が移動する3つのお祭りを選んだ。動きのあるお祭りは、それぞれの地域を体感し、地域独特の文化や歴史を学ぶことができる。

## 未来へのパレード

東松島の特有の地形を考慮した新たな避難対策をし、町に根付いた“お祭り”を行う場に文化やつながりの拠点をつくることで、町を再生し、子ども達の未来につなげる。

### 01. 東松島市

2011.3.11 東日本大震災により、東北地方は甚大な被害に見舞われた。特に沿岸部は壊滅的である。  
その中で、東松島市は、市内に3つの川(吉田川、鳴瀬川、定川)を持ち、山陸部以外はほぼ平坦な地形をしているため、市街地の65%が浸水した。この津波浸水区域の割合は全国の被災被害市町村の中で最も高いといわれている。



### 02. 伝承すべきもの

■文化・つながり  
今回の広域被害により様々な居場所が奪われたことで、今まで築かれてきた地域特有の文化やつながりまでもが薄れつつある状況にある。これから被災地復興にむけて、新しい町が造られていく際に、文化や住民同士のつながりを伝承していくことが重要である。



■被災の教訓  
被災地が復興した時に、今回の甚大な被災の痕跡・教訓が町から消えてしまう。この経験を、未来に起きうる災害の対策につなげるためにも、被災の教訓を伝承していくことが重要である。

### 03. 文化・つながりを象徴するお祭り

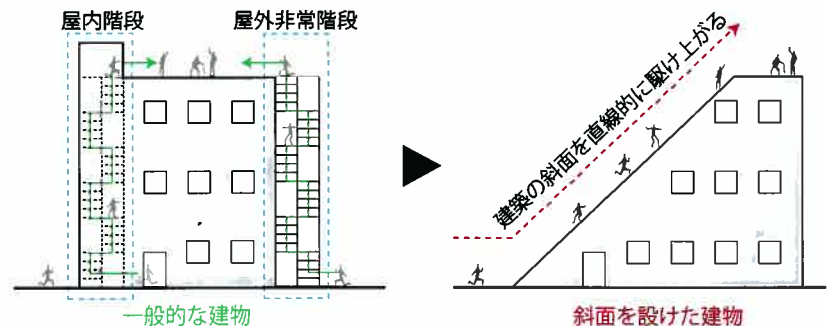
■地域文化としてのお祭り  
東松島には年間を通して8つの場所で16の規模の大きいイベント・お祭りが行われている。子どもを主役にしたお祭り、地域の特性を生かしたお祭りなど、その内容は幅広い。それぞれが住民の手によってつながれてきた伝統ある地域文化であり、つながりである。お祭りを続けることで、再興していく町に地域文化や、人々のつながりを残すことができる。

■お祭りと子ども達の関わり  
お祭りに参加することで、楽しみながら地域の文化やつながりを肌で学ぶことができる。さらにお祭りを行う場所に日常的に関わりを持つことで、普段の生活の中でも地域文化を意識することができるようになる。

「子ども達がいつでも地域のお祭りを感じられる場所を提案する」

### 04. 避難を意識づける形態

被災の教訓を忘れないために、日常生活の中で災害時の避難を意識づけることが重要である。津波や洪水を伴う災害時に、高台や建物の屋上へ避難することの大切さを、常に人々に意識づける形態を提案する。



- ・折り返し階段
- ・屋内への逃げにくさ
- ・非常階段の見つけにくさ
- ・直線階段
- ・屋外からの逃げやすさ
- ・非常階段の見つけやすさ





case study 1: 奥松島運動公園

子どものあそび場の再生

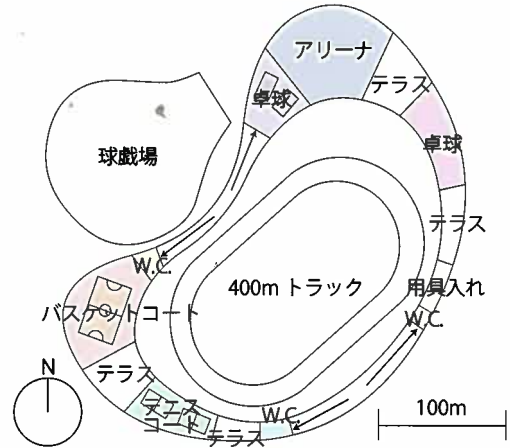
奥松島最大の公園であり、子どもが地域の人々の憩いの場である奥松島運動公園。海に隣接する公園は、既存の体育館「バウンズ88」を含め、津波による被害が大きく、球戯場と400mトラックの跡が残る。子どものあそび場として、この公園を再建する。「バウンズ88」の再建を行う際に、奥松島運動公園で行われていたお祭りを再生し、海の近くの避難の拠点となる場を形成する。

■奥松島運動公園を拠点とするお祭り

- ・奥松島祭り (5月)  
鳴瀬町最大のイベント。奥松島遊覧飛行の旅、あさり取り宝さがし競争、フリーマーケット、鳴瀬鼓心太鼓、火おこし競争などが行われている。
- ・東松島旬の市 (5月、10月、11月、12月)  
東松島カキ祭り、東松島農業、フリーマーケットなどが行われている。
- ・東松島国際ソーデーマーチ (5月)  
自然とのふれあいを満喫し、楽しく歩くイベント。

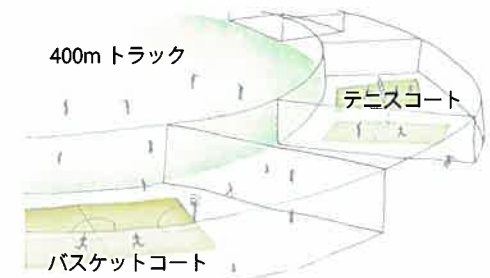
■体育館「バウンズ88」の再建

program: アリーナ / ビニールバレーボール / バスケケットボール / バドミントン / テニス / 卓球 / ステージ / 更衣室 / 控え室 / 放送室 / 会議室



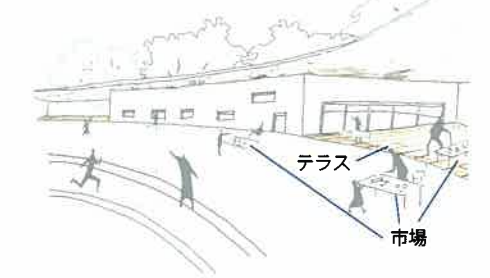
01. 奥松島最大の総合運動場の再建

市民がスポーツや文化的活動を行える場。トラックの周りを囲むようにスポーツ施設やアリーナを配置することで、市民の顔が見える運動場となる。



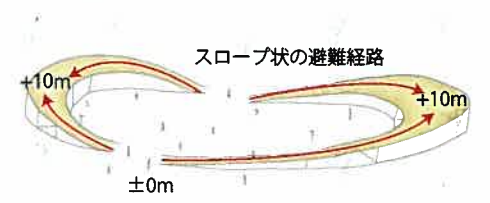
02. 奥松島のお祭りの拠点

奥松島運動公園では奥松島祭り、東松島旬の市、東松島国際ソーデーマーチが年間を通して行われている。テラスや底の下が市場や出店の開催場となる。



03. 海の近くの一時避難所

海に隣接する奥松島運動公園は災害時、津波や洪水も被害にあいやすい。スロープ状の屋根は一時的な避難を助け、日常的には子どもの遊具となる。



case study 2: 小野地区

お祭りを子ども達に伝える場所

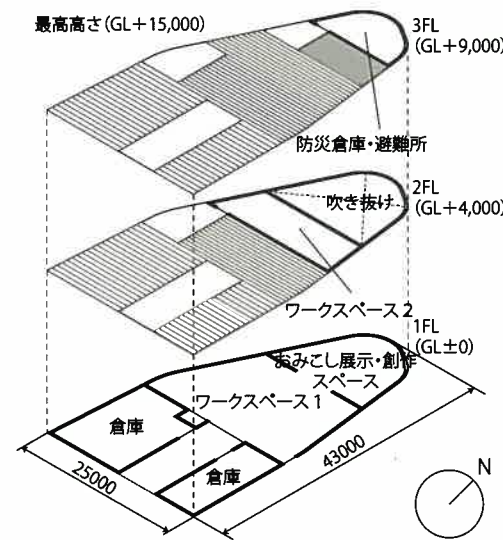
100年近く続く、東松島市鳴瀬流灯花火大会が行われる小野地区。近隣には、小野小学校・鳴瀬第一中学校・小野保育所がある。ここでは、約100年間続いてきた祭りの伝統や文化を、未来を担う地域の子どもの達に伝えて行く場所を提案する。また、想定される津波や川の洪水の際の、小野地区の避難拠点を形成する。

■小野地区を拠点とするお祭り

- ・東松島市鳴瀬流灯花火大会 (8月)  
旧鳴瀬町時代から町の人々に愛され続けてきた夏の風物詩、東松島市鳴瀬流灯花火大会。およそ800ヶの灯籠が鳴瀬川に流れ、約1200発の花火が夜空に打ち上げられる。鳴瀬川河川敷では演芸大会が実施され、露天も多く出店する。日中には、小野小学校の児童によるパレード、鼓笛隊を先頭に幼稚園児や小さな子ども達が子どもみこしを引き可愛らしい姿を見ることが出来る。

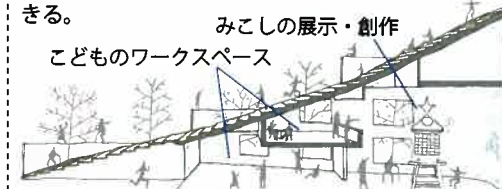
■小野地区の祭りを伝える場所の創造

program: ワークスペース / みこし展示・創作スペース / 倉庫 / 防災倉庫・避難所 / 物見台



01. みこしの展示・創作 / ワークスペース

みこしを展示し、子どもみこしを創作する場を設ける。また、ワークスペースでは、小野地区の歴史・文化を学んだり、祭りに向けての鼓笛隊の練習ができる。



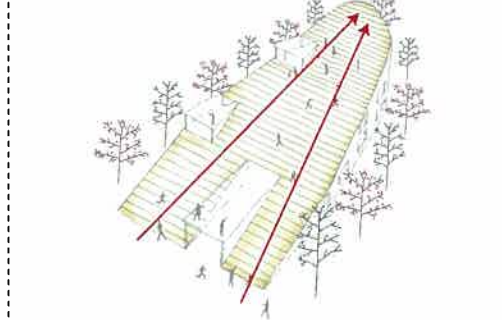
02. 花火の物見台

花火大会の時は、大階段が花火の物見台となる。地域住民が集まって花火を楽しむ場所となる。



03. 川の近くの一時避難所

鳴瀬川に隣接する小野地区は災害時、津波や洪水の被害にあいやすい。緩やかに傾斜する大階段は一時的な避難を助け、日常は、鳴瀬川や小野地区周辺の美しい自然環境を眺める事ができる場所となる。



未来へのパレード



case study 3: 矢本駅周辺

子ども達が遊び、表現する舞台

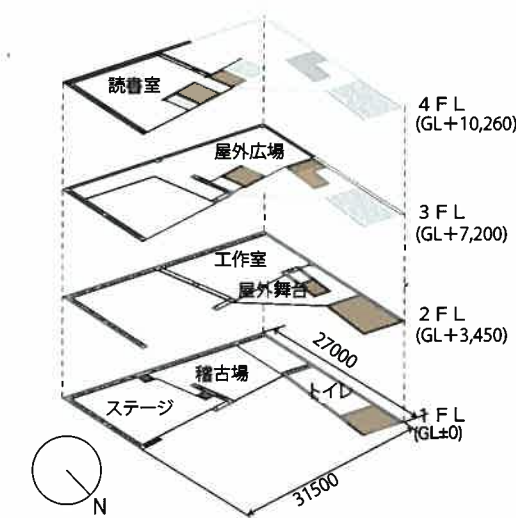
矢本駅周辺は東松島の市街地で、町の顔となる場所である。祭りでは、矢本駅そばの空地がメインステージとして使われ、駅利用者も少し離れたステージのにぎやかさを感じることができる。その場所に子ども達や住民が、普段から遊び、憩い、催し物を開ける舞台を提供し、町に彼らの活気を伝えるための拠点を形成する。

■矢本地区を拠点とするお祭り

- ・東松島夏祭り (8月)  
航空祭の前夜祭として行われる東松島最大の夏祭り。商店街の沿道には露店が並び、音楽パレードや子ども神輿が練り歩く。フィナーレにはメインイベントである八幡神輿が祭を盛大に盛り上げ、メインステージでは和太鼓演奏や踊りなどの演目が行われ、祭に華を添える。また東松島夏祭りは第1回が開催されてから、まだ10年たつておらず、東松島の中でも新しい祭りである。

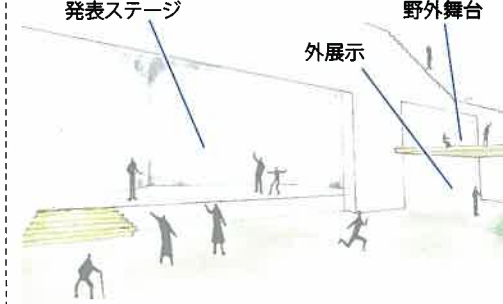
■表現と遊びのための施設提案

program: 舞台 / 稽古場 / 倉庫 / 野外舞台 / 工作室 / 屋外広場 / 読書室 / 避難所



01. 表現のための舞台

公式な催しのためだけでなく、気軽に自分を表現することのできる場を提供する。利用者は屋内や外などで、自分に合った舞台で自由に活動を行える。



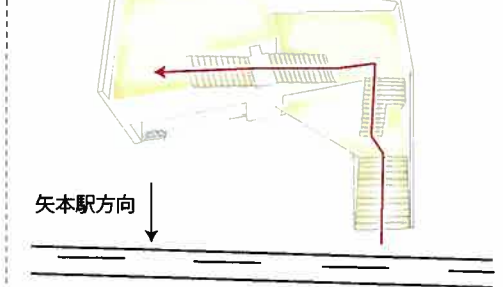
02. 町の中のお遊び場階段

大きな階段と壁で構成される空間は、子ども達にとって絶好のお遊び場となる。



03. 町の中にある一時避難所

矢本は平地であるため、大きな水害の被害を受ける。屋上までつながる大階段を人通りのある矢本駅に対して見せることで、普段から避難場を意識できる。



矢本駅方向